シミュレーションの詳細仕様確認

Setting機能を使用して、変更可能な項目

　・音のON/OFF

・文字のサイズ

　・通知の許可

it is very likely that , トレースプログレス、アニメーション are shown

行の種類・・・三種類

命令行

　・オペランド有り

　・オペランド無し

注釈行

コメント行

サードパーティの作成した、入力キーボードの仕組みを調べる。

toString( )

列挙体の使用

命令コード・・・コンボボックス、オーバーロード含めて38個全て表示、入力による予測候補

ラベル・・・EditText

ラベル(常)　命令コード(常) オペランド達(命令コード入力後適時表示) コメント(常に右端に表示、透かし)

オペランドの省略記号

r1,r2… = ジェネラルレジスタ

addr = アドレス

idx = インデックスレジスタ

コンポーネント

RegisterCombo = RegisterPettern (GR0 ~ 7)

opcode, signature (r1, r2) →　registercombo1, registeracombo2

IndexCombo = IndexPettern (GR1 ~ 7)

Addr = テキスト入力 = AddressPettern

const定数

　const定数とは

　　ラベル

　　16進数

　　10進数

　　= 10進数 (=が付くとDC命令が走る)

　　= 16進数

　　= ‘文字列’

opCode = ( opcode, signature, List<InputPettern> = オペランドの組み合わせ)

レイアウト

一行あたりの初期状態は、命令行にし、コメント行に切り替える手段を提供する

プログラムの実行―＞コンパイルー＞ポップアップ(表示)--->トレース―――＞逐次実行

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　--🡪実行-🡪結果表示

■実装要求

　Label OpCode Operands

s1 s2 s3, s4…

s1△s2△s3,s4 CaslSimurator Formats

リファレンスからのサンプルコードを解析し、入力画面に適切に配置する。

　リファレンスからのサンプルコードの実行時は、実行後リファレンス画面に戻る